

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



し ら た か

広報

7.14
JUL 2007
NO.972

平成20年度白鷹町重要事業要望②

白鷹町職員の募集について④

第42回白鷹若鮎マラソン大会⑤

マイレールサポート事業募集中!⑨



ヤマメの住む美しい里を守っていこう — 鷹山小児童、ヤマメの稚魚を放流（7月4日）

鷹山小学校の全児童48人が、萩野川上流でヤマメの稚魚を放流しました。これは、地元萩野地区の有志「白萩会」の皆さんが、きれいなふるさとを大切にすることを子どもたちに養ってほしいと行っているもので、今年で4回目。児童たちは「大きくなって戻ってきてね」と400匹の稚魚を川へと放ちました。会長の横山萩野区長は「ヤマメたちは、大きくなり産卵のために萩野に戻ります。わたしたちも帰りたいたいと思えるようなきれいな里にしていきましょう」と話していました。

平成20年度白鷹町重要事業要望

「重要事業要望」は白鷹町が発展していくための骨格となる重要な事業について、その事業が着実に実現するよう国や県に対し要望するものです。

平成20年度の重要事業として要望している主要な項目についてお知らせします。

地方財源の確保充実に ついて

1. 地方交付税の確保

本町のような財政力の弱い過疎の地方公共団体に対して、地方交付税制度の持つ機能の堅持及び総量の確保を要望しています。

2. 過疎地域に対する過疎対策事業債の充実

過疎対策を進めていくための過疎対策事業債の確保と県道路事業負担金や義務教育関連施設の改修など起債対象事業の拡大を要望しています。

過疎地域の振興を目的とする新たな法律の制定について（新規）

過疎活性化対策として制定された過疎地域自立促進特別

措置法が平成22年3月で失効することから、過疎地域が活力ある豊かで住み良い地域として発展するために、過疎地域の振興を目的とする新たな法律の制定を要望しています。

高度情報社会に向けた 光ファイバー網の整備について（新規）

平等に情報を楽しむことができる情報社会に対応するため、光ファイバー網の整備に向けた民間事業者に対する支援等を要望しています。

浄化槽設置整備事業に係る 県の支援について

自然豊かな環境を守る施策として浄化槽設置整備事業の推進を図るため、県の合併処

理浄化槽設置補助金の復活を要望しています。

医師の確保及び定着化の 推進について

地域住民に密着し地域医療を守ることを使命とする町立病院の安定的な経営を図るために、地方における医師の確保及び定着を要望しています。併せて、医師の員数に関する法令等について、本地域における基準の緩和を国に要請されるよう要望しています。

荒砥橋整備の早期着工に ついて

本町のまちづくりや東西地域の連携強化、交流拡大を図るために重要な荒砥橋整備の早期着工を要望しています。



▲車のすれ違いが困難な荒砥橋

鮎貝まちづくり事業関連 事業の整備促進について

主要地方道長井白鷹線や一般県道黒鴨鮎貝線など、鮎貝まちづくり事業に関連する各事業の整備促進を要望しています。

道路の整備促進を要望しています。

1. 国道287号（黒滝橋前後区間）の事業推進

2. 米沢〜白鷹間の規格の高い道路の整備（早期着工）

3. 主要地方道米沢南陽白鷹線（杉沢地内）の早期着工

広域幹線ネットワークを 形成する道路の整備促進 について

国道287号、348号や主要地方道、一般県道の広域幹線ネットワークを形成する

安全で安心できる道路 （交差点、歩道）整備事業 の推進について

だけれども安全で安心して通行できるよう、次の交差点、歩道の整備を要望しています。

新規 Demand 過疎地域の振興を目的とする 新たな法律の制定

過疎活性化対策として昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」が制定され、その後10年間の時限立法を更新する形で、現在の「過疎地域自立促進特別措置法」が制定されました。

本町は、昭和45年に過疎地域の指定を受けて以来、栃窪地区の集落移転事業をはじめ、統合小学校、保育所、道路、消防施設などの社会資本の整備を積極的に進め、急激な人口の減少の歯止めにも成果を挙げました。

しかし、引き続き人口が減少し、少子高齢社会の急激な進行、産業面の劣弱な条件、就業機会の不足、地域社会機能の低下など、解決すべき多くの課題が山積しています。過疎地域自立促進特別措置法の平成22年3月の失効後も、なお一層強力な施策展開を必要としています。

わたしたちの地域が、自然や文化を生かし、生き生きと豊かで住み良い地域となっていくために、過疎地域振興のための新たな法律の制定を要望します。



▲マイレールの存続は住民の願い

1. 国道348号(滝野地内)交差点改良(新規)
 2. 主要地方道長井白鷹線(鮎貝地内)歩道整備
- 鮎貝急傾斜崩壊対策事業の早期着工について(新規)**
- 人命財産を守り、災害を未然に防止するため、危険箇所の解消に向けて、鮎貝急傾斜崩壊対策事業の早期着工を要望しています。
- 国・県道沿いの不法投棄対策について**
- 国・県道等県内外の多くの車両が通過する路線については、悪質な大型ゴミの投棄や有害な廃棄物と思われる投棄が後を絶たないことからゴミの収集等を要望しています。

白鷹町古典桜の県天然記念物指定について

本町の古典桜の釜の越サクラ、子守堂のサクラ、赤坂の薬師ザクラ、殿入ザクラ、原

県立高等学校の再編整備の在り方について

荒砥高等学校は地域に根ざした開かれた学校づくりを進めており、地域にとって重要な高校であることから、その存続を要望しています。

地域住民の生活交通(町営バス)の確保について

総合的な交通体系システム構築に係る調査事業や運行システムに対する財政支援、車両購入の補助制度復活などを要望しています。

山形鉄道株式会社の経営改善に係る財政支援について

フラワー長井線の存続に向け、施設の維持、更新に係る各種補助金の確保や、利用拡大策の強化、運営に係る財政支援を要望しています。



▲損傷が著しい観音寺観音堂

国指定重要文化財観音寺観音堂の保存修理について

老朽化している観音寺観音堂の屋根葺替えについて、平成20年度国庫補助事業採択並びに県の補助と技術的指導をいただくよう要望しています。

本場米琉(白鷹板締小新)の県無形文化財指定について

歴史的・芸術的価値が高い本場米琉白鷹板締小新を大切に保存し、後世に伝承していくために、山形県の無形文化財に指定いただくよう要望しています。

新規 鮎貝急傾斜崩壊対策事業の早期着工

本町には、急傾斜崩壊や地すべりなど土砂災害の危険箇所があり、家屋や道路、河川等に災害が発生しやすく地域に住む皆さんに不安を与えています。特に、鮎貝急傾斜地は人家も多く隣接しており、地震や豪雨等により斜面が崩壊する恐れがあります。安全な居住空間をつくりあげ、大切な人命や財産を守り、災害を未然に防止することを目指して要望します。



▲6月29日の豪雨による急傾斜地崩壊現場

新規 高度情報社会に向けた光ファイバー網の整備

近年、情報通信技術の進展で、大容量のデータ通信を簡単に行うことのできる時代へと急速に動き出しています。しかし本町では、一般住宅や企業等はADSL回線を利用しており、収容局から離れた地区ではブロードバンドサービスの恩恵を受けられない状況です。役場庁舎や学校、地区公民館などの公共施設は光ケーブルの専用線でネットワーク化されているのですが、外部とのデータ通信は一般住宅や企業等と同じ回線利用です。

「いつでも、どこでも、だれでも」平等に情報を受け入れられる情報社会に対応するため、光ファイバー網の整備に向けた民間事業者に対する支援と要請を要望します。



問い合わせ 総務政策課
政策企画係 (☎85-6123)



求む！ 未来の白鷹を築く町職人たち

平成20年度採用白鷹町職員募集について

募集職種及び採用予定人員
受験資格

<p>◇ 行政職 〔大学卒業程度〕 ◎ 若干名</p>	<p>次のいずれかに該当するかた ① 昭和52年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれたかた(学歴は問いません) ② 昭和61年4月2日以降に生まれたかたで学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業したかた、または平成20年3月までに卒業見込みのかた</p>
<p>◇ 保健師 ◎ 1人</p>	<p>昭和47年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれたかたで、保健師の資格を有するかた、または平成20年3月までに取得見込みのかた</p>

【試験日及び会場】

◇ 第1次試験：9月15日(土) 白鷹町健康福祉センター

◇ 第2次試験：9月16日(日) 長井市立長井南中学校

◇ 受験申込受付期間：10月中・下旬(予定)

◇ 試験内容

◇ 第1次試験：口述試験、大学卒業程度教養試験(保健師は短大卒業程度)、専門試験(行政または保健師)、適性試験、作文試験

◇ 第2次試験：面接試験

【提出書類】

① 白鷹町職員採用試験申込書及び住民票抄本

* 申込書は役場2階総務政策課に備え付けています。

白鷹町のホームページ (<http://www.town.shirataka.yamagata.jp/>) からダウンロードできます。

② 写真(3カ月以内に撮影したもので、タテ4cm×ヨコ3cm、無帽、上半身、正面)

* 応募は郵送でも受け付けます(8月10日必着)

■ 応募先・問い合わせ 総務政策課 総務係(〒992

0892 白鷹町大字荒砥甲833 ☎ 85-6120)

町職員の採用計画の見直し

【計画の推進状況】

町では、「平成16年度白鷹町自立のまちづくり計画」(行財政改革プログラム)により、まちづくりを進めています。その具体的取り組みを「第3次白鷹町行財政改革大綱」や「白鷹町集中改革プラン」に示し、業務の委託、課の統合による組織の再編などを行い職員数を減らしてきました。

ここ数年は、退職者がいた場合でも採用を控えてきました。その結果、職員数は平成15年度の262人から、平成19年度には227人となっています。

【これからの業務量の予測】

これから次のような業務への対応が必要となります。

- ① 平成20年度から国民健康保険を受けるかたの特定健診、特定保健指導の対応
- ② 後期高齢者医療保険への対応
- ③ 地域包括支援センター事業の充実
- ④ 鮎貝まちづくり事業への対応
- ⑤ 税証明発行などの待ち時間を短くするための税データの即時処理システムの導入(平成20年5月稼働)
- ⑥ 定年退職によって職員が減ることへの対応

【採用計画の見直し】

今後の業務量に対応し、組織運営の活性化と将来にわたる持続可能な組織体制の維持運営を図るため、平成22年度からの採用を前倒し、平成20年度から採用を行います。

9/16
(日)

この道^{ロード}で走りたい!



第42回 白鷹若鮎マラソン大会

出場者募集

●コース

日本陸連公認コース
スタート・ゴール 蚕桑小学校

●参加者募集

健康で自分が希望するコースを完走できるかた
・壮年男子の部は、平成19年9月16日現在で、満40歳以上のかた

●参加料

高校生……………1500円
一般……………3000円
(2キロの場合は、1500円)
小・中学生……………800円

●種目

・ハーフマラソン 一般の部 (制限時間2時間15分)

・10マイル 一般の部(制限時間2時間)

・10キロ ①高校の部

②一般の部

①中学男子3年の部

②女子の部

③壮年男子の部

①中学男子1・2年の部

②中学女子の部

小学生以上

●申込締め切り 8月10日(金) 消印有効



■申込・問い合わせ
教育委員会生涯学習・スポーツ推進係
「白鷹若鮎マラソン大会実行委員会 事務局」
☎85-6147 (直通) FAX85-2183

●白鷹若鮎マラソン大会にご協力を!「ボランティア運営スタッフ」募集…大会当日、大会運営(受付、記録証交付補助等)にご協力いただけるかたは、下記問い合わせ先までご連絡ください。また、大会当日、会場において売店等の出店をお考えの団体、個人のかたはご相談ください。



投球、守備、打撃、すべてが一流 日本女子ソフトボールリーグ山形大会

6月9日、10日、ソフトボール場において、日本女子ソフトボールリーグ山形大会が開かれました。日本代表で活躍した宇津木麗華さんが監督を務める人気チーム・ルネサス高崎など4チームが参戦し、4試合を行いました。10日には、日本代表のエースピッチャー上野由岐子選手が好投しました。訪れた延べ2500人の観衆は、一つ一つのプレーに驚きのため息と歓声を上げながら見入っていました。



目を世界に 心は祖国に 田勢康弘さんが東中で講演

6月22日、東中学校で、田勢康弘さんの講演会が行われました。田勢さんは旧荒砥中学校に在籍されていたことがあり、母校の子どもたちへ思いを伝えたいと実現。全校生徒を前に田勢さんは「自分というものは小さな存在で、一人で生きているのではない。家族や友だち、地域の人たちによって生かされているのです。自分を深め豊かにするために、何事にも好奇心を持ち、学んで行ってほしい」と話していました。



鮎貝小学校福祉コンサート 菅間忠男草笛コンサート

6月18日、鮎貝小学校で、草笛コンサートが行われました。同小学校が取り組む福祉教育の一環で、今回は荒砥出身で草笛奏者の菅間忠男さんを招いて行ったものです。「雨」「大きな古時計」などの曲がピアノの伴奏に合わせて演奏され、涼しげで、心温まる音色に児童たちは聴き入っていました。菅間さんは演奏した曲の歌詞をもとに「弱い立場のおじいちゃんおばあちゃんを助けてあげてください」と語りかけていました。



山形大学吹奏楽団 ふれあいコンサート

6月9日、蚕桑小学校体育館で、ふれあいコンサートが開かれました。山形大学吹奏楽団の皆さんが、子どもたちに音楽を身近に感じてほしいとボランティアで行ったものです。「となりのトトロ」メドレーでは着ぐるみの踊りも加わり、全員参加のクイズや楽器紹介など大学生らしい工夫がいっぱいのコンサートでした。子どもたちは、指揮を体験したり、楽器にふれたりしながら、目を輝かせて過ごしていました。

白鷹ライオンズクラブが 鮎っ子クラブに寄付

白鷹ライオンズクラブ（鈴木重治会長）から、福祉のために使っていたきたいと鮎貝地区放課後児童クラブ「鮎っ子クラブ」に対し善意が寄せられました。鮎っ子クラブは、平日空き教室を利用し、放課後児童の居場所づくりを目的に設置されているもので、低学年を中心に毎日20人の児童が過ごしています。

贈呈は6月20日の例会で行われ、鮎っ子クラブ施設長の梅津一郎さんに手渡されました。梅津施設長は「毎日クラブで過ごす子どもたちのために有意義に使わせていただきありがとうございます。なにより子どもたちのことを一番に考えていただいたことに感謝します」とあいさつされました。





6月20日、あゆかい保育園の園児たちがいちごのもぎ取りを行いました。これは、有限会社どりいむ農園が、楽しみながら町の特産品を知ってほしいと、町内の全保育園にいちご園を開放したもので、昨年からは行ってきます。子どもたちは、広いハウス内を歩き回りながら、大きな実を見つけては「すごくあまーい」「中まで真っ赤だ」と言いながら、つぎつぎにほお張っていました。

子どもたちの喜び顔が見たい あゆかい保育園いちごもぎ取り体験



6月16日、17日、白鷹スキー場を主会場に、第23回サンシャイントライアルが開催されました。3クラス約300人が白鷹の初夏をバイクで駆け巡りました。セクションが難しいほどに、笑顔で挑んでいくライダーの姿が印象的でした。今回の一つの目玉「一芸自慢コーナー」では、各選手の見事なバイク技が披露され、集まった人びとを驚かせました。スタッフの皆さんお疲れさまでした。

初夏の青空、いつものサントラ サンシャイントライアル&トレッキング



6月12日、こぐわ保育園で花の植栽活動が行われました。子どもたちが土とふれあい、生き物を大切に育てる心を養ってほしいと、白鷹土地改良区が21世紀土地改良区創造運動の一環として行ったものです。今回は、こぐわ保育園ひまわり組の園児33人が参加し、プランターにマリーゴールドなどの花の苗を植栽しました。プランターは保育園などに置かれ、今後は、園児の皆さんが水やりなどの管理を行っていきます。

白鷹土地改良区「みどり」と花を育てるつどい こぐわ保育園園児が花の苗を植栽



6月13日、蚕桑小学校で、白鷹町人権擁護委員が主体となり、豊かな心の子どもたちを育てる教室が開かれました。人権擁護委員の金田捷夫さんと大森和子さんが経験談を講演。金田さんは山登りの話から「家族や友だちと仲良く手をつなぎ、みんなの人生の頂上を目指してほしい」と話していました。その後、花の苗を植えた児童の皆さんは、生き物に手を掛け育てていくことで命の大切さを学ぶことでした。

人は独りの力では生きられない 蚕桑小学校で人権教室

東北電力旗杯置賜予選会でミニバススポ少男子が優勝

6月23、24日、南陽市民体育館で、第20回東北電力旗杯山形県ミニバスケットボール置賜予選会が行われました。置賜地区の男子17チーム、女子19チームが参加し、白鷹ミニバスケットボールスポーツ少年団男子が優勝しました。これにより、7月末の同杯山形県大会への出場が決まりました。県大会で上位入賞し、東北大会出場を目指します。



東中学校生徒が奉仕活動

6月14日、中央公民館で、東中の3年生が奉仕活動を行いました。1階から3階までの窓ガラスを磨いていただきました。ありがとうございます。中学生の奉仕の心は、大人の皆さんへの刺激にもなります。これを忘れず、施設や道路をきれいに使っていくたいものです。

**後藤惣一さん（中山）が
優秀施工者国土交通大臣
顕彰受賞**

この顕彰は、現場の第一線で「ものづくり」に直接従事しているかたの中から、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている建設技能者のかたを対象として、国土交通大臣が顕彰するものです。

後藤さんは、株式会社タカハシ電工（山形市）にお勤めで、電気工として、主に県内のビル・住宅の電気内線工事を担当し、優れた技能を発揮され、適切な施工業務に尽力されています。また、同社に勤めて以来29年の経験と身につけた技術を伝えていこうと、後輩の指導・育成にも熱心に取り組まれています。

この功績により、このたびの顕彰となりました。

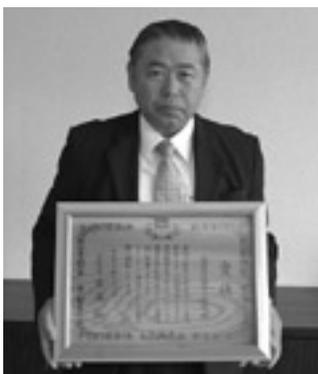


**鮎貝小学校が環境やまがた
大賞受賞**

この賞は、環境の保全や創造などの活動に取り組み、特に功績のあった県内の個人や団体に対して、その功績をたたえ山形県知事が表彰するものです。

鮎貝小学校（丸川敬浩校長）では、学校の裏山「教育の森」を環境教育の場として活用し、年間を通して自然観察などを行っているほか、地域の皆さん、鮎貝土地改良区など、さまざまな分野のかたがたの協力を得ながら、植樹、ケナフの栽培・活用、ごみ減量等、多様な環境教育を実施されています。

これらの活動が評価され、このたびの受賞となりました。



**平成19年度白鷹町消防団
操法大会の結果**

6月24日
ソフトボール場駐車場

「操作始め!」「よし!」響く掛け声、ホースを担ぎ駆ける消防団員。町操法大会に各分団代表の班が出場し、スピードある動きとともに、確実な操法技術を披露しました。早朝出勤前、そして帰宅後夜遅くまで、約2カ月に及ぶ厳しい練習の成果をこの大会で出し切りました。すべての班

が転倒もなく、競技を終えました。この頼もしい操法が、万が一の有事の際に発揮されるのです。

上位入賞の班の皆さんおめでとうございます。小型ポンプ積載車の部1位と小型ポンプの部1位と2位、ポンプ車の部（浅立）は西置賜支部大会に出場します。

■小型ポンプ積載車の部

1位 1分団4部1班（東田匠）
（出場者：馬場範之、土屋雅人、須貝弘和、後藤匡、金子哲治、渡辺彰）



2位 4分団3部1班（中山）
3位 5分団1部1班（町下）

■小型ポンプの部

1位 1分団2部1班（西高志）
（出場者：佐藤吉剛、金田雄一郎、本木伸明、金田浩明、金子晋也）



2位 2分団1部2班（鮎貝）
（出場者：松木伸次、山口秀輝、佐竹善幸、鈴木秀昭、小口智）



3位 5分団2部2班（杉沢）

■ポンプ車の部
5分団4部1班（浅立）

フラワー長井線を活用した“まちづくり”事業を応援します！

マイレールサポート事業募集中！

フラワー長井線利用拡大協議会では、“地域の足であるフラワー長井線を地域のアイデアで支える”マイレール・サポート事業を募集しています。長井線と沿線地域の地域資源を結びつけて、地域活性化とまちおこしを進めるものです。フラワー長井線にこだわり、愛着を寄せる団体の皆さん、ぜひご応募ください。

【内容】

- (1)平成20年3月31日までに実施・完了し、「マイレール意識の高揚」や「列車イベントの運行企画」「利用拡大広報」などのテーマ・題材に取り組む事業に対して支援費を交付します。
- (2)支援費は、事業実績額の範囲内とし、原則8万円を上限とします。
- (3)支援対象事業がすべて完了後、合同報告会を開催する予定です。

【申請方法】

- (1)申請期間
平成20年2月29日（水）まで随時受け付けます。
 - (2)申請書類等
 - ①申請書
 - ②団体の概要説明書（任意様式）
 - ③実施事業の内容がわかる資料
 - (3)申請と問い合わせ
フラワー長井線利用拡大協議会
〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲833
総務政策課内（☎85-6123）
- ※詳しくは、実施要綱をご覧ください。かお問い合わせください。
※実施要綱と申請書は、総務政策課、フラワー長井線沿線各市町、山形鉄道株式会社に準備しています。



●平成18年度は、次の7団体が事業を実施しました。

- ①置賜さくら回廊おもてなし事業
(フラワー長井線をつなぐ会)
- ②フラワー長井線利用拡大湯茶接待事業
(荒砥駅資料館ボランティア会)
- ③フラワー長井線で行くふるさとのお宝探検隊事業
(土曜らんど実行委員会)
- ④菜の花プロジェクト「植花夢・四季の郷」
(白鷹町菜の花プロジェクト)
- ⑤荒砥鉄橋研究所調査研究発表活動
(荒砥高校荒砥鉄橋研究所)
- ⑥「100万人のキャンドルナイト」INしらたか
(同実行委員会)
- ⑦スウィングガールズを契機とした
フラワー長井線利用拡大支援事業
(スウィングガールズおきたま応援隊)
- ⑧『景観、観光、環境』フラワー長井線3Kプロジェクト
(ながいフットパス推進会議)

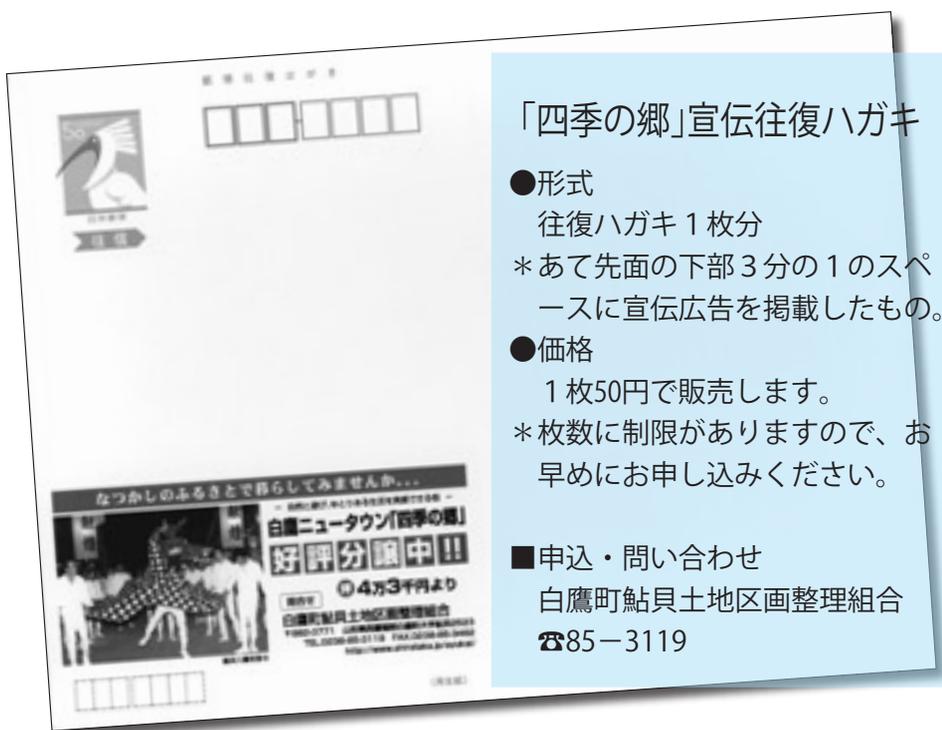
「四季の郷」宣伝往復ハガキをご利用ください

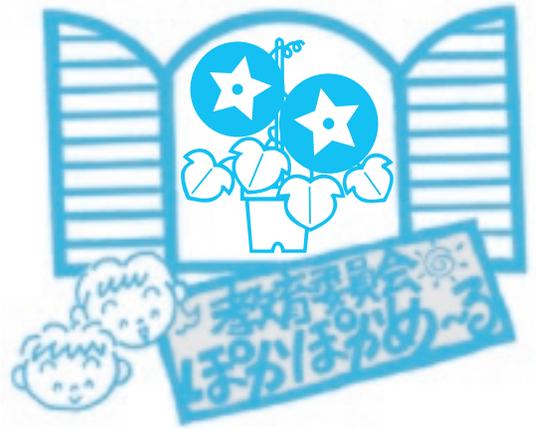
白鷹町鮎貝土地区画整理組合では、現在宅地分譲中であるために、昨年に引き続き、分譲地の宣伝広告ハガキを用意しました。

同窓会や同級会などの案内ハガキとしてぜひご利用いただき、「四季の郷」分譲地を広くご紹介ください。よろしくお願いいたします。

「四季の郷」宣伝往復ハガキ

- 形式
往復ハガキ1枚分
*あて先面の下部3分の1のスペースに宣伝広告を掲載したものを。
- 価格
1枚50円で販売します。
*枚数に制限がありますので、お早めにお申し込みください。
- 申込・問い合わせ
白鷹町鮎貝土地区画整理組合
☎85-3119





がんばれ！白鷹ジュニア！

郷土の誇りを胸に

…白鷹魂を走る風にのせて…

5月28日に、山形県ジュニア駅伝競走大会白鷹町チーム「白鷹ジュニア」の選手・スタッフの顔合わせ会が行われ、大会当日まで、およそ2カ月にわたる取り組みを開始しました。毎週月・水・金曜日の週3回、午後6時30分より、荒砥小学校グラウンド(6月)、健康福祉センター周辺で、県縦断駅伝等で活躍したコーチのかたがたからご指導いただき、練習会を行っています。
7月4日(水)のジュニア



駅伝白鷹町チーム選手選考会
7月14日(土)の蔵王坊平クロスカントリースコース試走会
8月3日(金)の白鷹町チーム結団式を経て、8月5日(日)開催の本大会に向け、選手・スタッフ一丸となって取り組んでいるところです。
各小中学校より選抜され、練習会に参加している選手の皆さんは、スポーツ活動や部活動、学校の行事等が続くなか、白鷹町の代表選手としての意地とプライド、そしてなにより「走る」ことに対する情熱を持ちながら、連日必死にがんばっています。
今年、男女駅伝チームと



もユニフォームを新調し、白鷹町の代表として気合を入れてがんばっていますので、町民の皆さまには、これまで以上のご支援、ご声援を賜りますようお願いいたします。
なお、7月は健康福祉センター周辺で練習しています。近くを通りの際は「がんばれ！」とひと言でも、町民の皆さまの温かい応援、激励の言葉をぜひかけていただきたいと思います。

7月23日より 稲荷ヶ丘町民プールを一般開放します

◎開放期間

7月23日(月)

～8月20日(月)

*7月25日(水)午後と26日(木)は「第44回白鷹町小・中学校及び町民水泳大会」のため、一般開放は行いません(町民水泳大会の詳細は、教育委員会までお問い合わせください)。
*8月13日(月)は休ませていただきます。

◎利用時間

午前9時～午後4時15分

*正午から午後1時までには施設錠し、閉場します。
*東中学校水泳部活動により、一般利用を制限させていただきます。ご了承ください。

◎注意事項

注意事項を守り、事故が起きないように利用しましょう。
◇幼児が利用するときは、必

ず保護者のかたが付き添ってください。

◇入水前には、体をよく洗ってください。

◇プールでは、騒いだりふざけたりしないでください。

◇監視員の指示には、絶対に従ってください。

◇持ち物には、必ず名前、学校名を書いてください。

◇敷地内は全面禁煙です。

◇飛び込みは禁止です。
◇水鉄砲等の持ち込みは禁止です。

■問い合わせ 教育委員会
生涯学習・スポーツ推進係
(☎85-6147)



食育

町の健康増進計画「元気ニコニコしらたか21」では、元気いっぱい子どもが育つために「おいしく食べて元気に育つ」ことを目指しています。そのためには、◎食生活を通して体と心を育む、◎正しい食生活を身につける、ことが大切です。元気いっぱい育つ豊かな暮らしの例えは、おじいさんがつくった野菜やその野菜でつくったおやつをおいしく食べている、お父さんやお母さんと子どもと一緒にご飯をつくっておいしいと言って食べている、こんな暮らしのことです。

これを受けて、食を通して楽しく交流するために、地産地消の実践、食文化の伝承を推進しています。

元気ニコニコ しらたか21

白鷹町健康増進計画

「伝統食」で健康づくり

おいしく食事することは体の健康を保持増進するだけでなく、人と人が集まり楽しく交流することができ、世代を超えた交流も自然に深めることができます。また、伝統食は地域の自然と文化の中で育まれ、その土地ならではの風習や行事に関連があり、文化を伝承するために大きな役割を担っています。

町健康増進計画「元気ニコニコしらたか21」では、食文化の伝承は子どもへの食事バランスに効果があるだけでなく、高齢者の健康な暮らしにも大いに役立つため、地域などで積極的に推進しています。

元気ニコニコ推進会議「食育グループ」では、健康づくり推進員連絡協議会が作成した「しらたかの食の暦」を教材として白鷹町の伝統食について研修しています。

昨年は「おみ漬けづくり」を実施しました。参加者は保育園から小学生までの子どもとお母さん、指導者は食育グループの先輩のお母さんたちです。小さい手で大きな青菜の葉を切り、青菜、にんじん、大根などを混ぜる光景はなんとも微笑ましいものでした。普段、あまり野菜を食べない

子どもたちも「おみ漬け」でご飯をおかわりして食べました。その子どもたちのそばには笑顔の先輩たちがいました。みんなで作る伝統食には、子どもから高齢者まで元気にする力があることを実感しました。

今年は「わらび採り」にチャレンジし、あく抜き実習をしました。あく抜きをしたわらびは、おひたしやみそ汁でおいしく食べることができました。



6月には「笹巻き」を作りました。笹のゆで方のコツや笹巻きの結び方を実習し、普段、慣れていないお母さんたちは悪戦苦闘。子どもたちは「にわかおばあちゃん」に指導してもらい、お母さんたちよりも上手に結べる子もいました。沸騰してから50分ゆでて完成です。試食した子どもたちは「おいしい」を連発。食文化の伝承、大成功でした。

健康のひろば

おいしく食べるためには

噛むことが大切です！

子どものごころから『よく噛んで食べなさい。』と言われてきた人も多いと思います。近ごろの食生活を見るとよく噛まなくても飲み込める食物が大半を占めているのではないのでしょうか。

『噛む』というのは単に食物を細かくするだけでなく、さまざまな効用があるのです。

噛むことの効用

- ①食物の消化を助ける
- ②顎（あご）の発達をつながす。
- ③脳の働きを活発にする。
- ④味や歯ごたえを楽しみ、満足感を与える。
- ⑤気持ちが落ち着き、イライラを解消する。
- ⑥食べ過ぎを抑える
- ⑦唾液の分泌がよくなる。

歯ごたえのある食物

ナッツや豆類、イカ、タコ、漬物、山菜や野菜等の干物料理…（伝統食は比較的、歯ごたえがあります）

歯ごたえのある食物を

一口20〜30回以上噛みましょう。



“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています！（元気ニコニコ推進会議）

情報 あらかると Information!

インフォメーション

役場は ☎85-2111



元気ニコニコウォーキング

▼いつ 7月22日(日) 午前6時30分～9時30分(午前5時45分集合)

▼集合場所 健康福祉センター前(乗り合いで県民の森へ)

▼コース 県民の森林間コース

▼内容 早朝の澄んだ空気を胸いっぱい吸い、沼周辺の林間歩道をゆっくり歩きます。のどが渴いたら、白鷹山の冷たい伏流水はいかがですか。

*申し込みは不要。当日お集まりください。

▼次回開催 8月26日(日) 荒砥・鮎貝周遊フットパスコース

■問い合わせ 元気ニコニコ推進会議事務局(健康福祉課 健康推進係) ☎86-0210

白鷹町青少年町民会議研修会

白鷹町青少年町民会議は、青少年が健全に成長できるように、安心安全な地域をつくることを目指し活動しています。研修会は総会後の開催となります。ぜひお聞きください。

▼いつ 7月14日(土) 午後3時～

▼どこで 中央公民館大ホール

▼内容 講演「この世で一番素敵なことは…」

○講師 荘内日報社論説委員 水戸部浩子さん

■問い合わせ 教育委員会 生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)

白鷹パークゴルフ場 第2回「町長杯」親善大会

▼いつ 7月22日(日) 午後1時(開会式)

▼どこで 白鷹パークゴルフ場

▼日程 ①受付・フリー練習 午前9時30分～

②開会式・競技スタート 午後1時～

③表彰式・懇親会 午後5時～

▼参加費

・男性 5000円
・女性 4500円

(大会費、プレー料、昼食代、懇親会費を含む)

*懇親会不参加の場合は男女とも1500円です。

*貸しクラブは無料です。
*競技終了後は無料で入浴できます。

▼競技方法 36ホール(こぶし2回、さくら2回)のスコアを競います。

▼表彰 男女各優勝、準優勝、3位、ブービー賞

*飛び賞、ホールインワン賞、参加賞もあります。

▼参加資格 町民のかた、町内にお勤めのかた、町パークゴルフ会員のかた

▼締め切り 7月18日(水)

■申込・問い合わせ パレス 松風(☎85-11001)

荒砥高校開放講座

「荒砥高校の歴史と未来を語り合おう」

皆さんの心の中にある荒砥高校を教えてください。

▼いつ 8月31日(金) 午後7時～9時

▼どこで 荒砥高校復禮会館

▼内容 50余年の学校生活や名物先生の思い出などに触れ、これからの荒砥高校を盛り上げていきましょう。

▼対象 20～30人

▼締め切り 8月24日(金)

*情報提供や語り合いたい内容は荒砥高校(☎85-2171)までご連絡ください。

■申込・問い合わせ 教育委員会 生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)

白鷹専修学校開放講座 小物つくりとお菓子つくり

▼期日とテーマ

第1回 7月22日(日) 小物

第2回 10月14日(日) 小物

第3回 12月16日(日) 菓子

▼時間 午前9時～午後3時

▼内容 小物つくり 思い出のTシャツを利用してかわいいポーチや袋物をつくりま。

図柄を用いてデザイン、製図、裁断、縫製して完成。

・お菓子つくり 季節に合わせた材料を使って行います。

▼対象 小中学生、一般

▼締め切り 7月20日(金)

■申込・問い合わせ 白鷹高等専修学校(☎・FAX 85-2081)

親子映画会

▼いつ 7月20日(金) 午後6時(午後6時30分開場)

▼どこで 鮎貝小学校ホール

▼上映作品 アニメ「五等になりたない」

▼参加費 無料

*申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

■問い合わせ 鮎貝小学校・菊地(☎85-2030)



第22回町民ソフトボール大会の参加募集

▼いつ 8月6日(月) 10日(金) ナイター

▼どこで ソフトボール場

▼種目と参加資格

① 一般男子の部

② 一般女子の部

|| どちらも平成19年4月1日

現在で15歳以上のかた

③ 壮年男子の部

|| 昭和43年4月1日以前に生

まれたかた

▼ チームの編成

○ 地区・町内等の地域単位で

編成されたチーム、町シニ

アチーム

○ 監督1人、コーチ1人、選

手20人以内

▼ 試合方法 トーナメント方式

▼ 参加料 2000円

▼ 申込方法 各地区公民館に

ある申込書に必要事項を書き、

参加料を添えて提出してくだ

さい。

▼ 締め切り 7月23日(月)

▼ 監督会議 7月27日(金)

午後6時30分

中央公民館

■ 申込・問い合わせ ソフト

ボール協会事務局・橋本(産

業振興課内 ☎85-6127)

第39回読書感想文と生活文 コンクール作品募集

▼ 応募部門

・ 読書感想文

・ 生活文(一般のみ)

▼ 字数 400字原稿用紙5

枚程度

▼ 応募方法 直接、町立図書

館へお持ちください。

*ただし、小・中・荒砥高校

生は学校を通じて応募して

ください。

▼ 表彰式 特別賞のみで後日

連絡します。

▼ 締め切り 9月28日(金)

▼ その他 応募作品は返却し

ません。

■ 問い合わせ 教育委員会

文化振興係(☎85-6146)

西置賜行政組合職員採用試験

▼ 職種・採用予定人員 西置

賜行政組合初級消防職・6人

▼ 採用予定日 平成20年4月

1日

▼ 受験資格 長井市、西置賜

郡に住んでいるまたはこの地

域に居住予定のかたで、昭和

54年4月2日以降に生まれ、

高校卒(平成20年3月卒業見

込みのかたを含む)以上の学

歴を有するかた

▼ 試験日 9月16日(日)

▼ 試験会場 長井南中学校

▼ 試験の内容

① 一次試験 教養試験、作文

試験、適性試験(筆記)

② 二次試験 体力試験、人物

試験

▼ 受付期間 7月30日(月)

〜8月10日(金) 午前8時30

分〜午後5時(土日を除く)

▼ 受付場所 西置賜行政組合

事務局(長井市)

▼ 試験申込用紙の請求 西置

賜行政組合事務局、消防本部、

消防署白鷹分署など

■ 問い合わせ 西置賜行政組

合事務局(☎88-4336)

平成19年度甲種防火管理講習

▼ いつ 8月2日(木)〜3

日(金) 午前9時〜午後4時

30分(受付は8時30分から)

* 修了証書の交付は、2日間

受講が条件です。

▼ どこで 西置賜行政組合消

防本部(長井市)

▼ 受講定員 80人

▼ 受講料 3500円(テキ

スト代等)

* 講習会初日の受付時に集金

します。

▼ 締め切り 7月25日(水)

■ 申込・問い合わせ 西置賜

行政組合消防本部予防課(☎

88-1797)、消防署白鷹分

署(☎85-5242)

「県民みんなで支える新たな森

づくり」シンボルマークの募集

▼ 作品イメージ やまがた緑

環境税を活用した「県民み

んで支える新たな森づくり」

をイメージするもの

▼ 応募資格 どなたでも

▼ 締め切り 8月31日(金)

▼ 賞

・ 最優秀賞1点(5万円分の

図書カードまたは商品券)

・ 優秀賞3点(1万円分の図

書カードまたは商品券)

* 応募規定などについてはお

問い合わせください。

■ 応募・問い合わせ 山形県

みどり自然課(☎023-16

30-3100) または県ホ

ームページ([http://www.](http://www.pref.yamagata.jp/)

[pref.yamagata.jp/](http://www.pref.yamagata.jp/))

狩猟免許初心者講習会

狩猟免許試験を受けられる

かたの事前講習会です。

▼ いつ 8月9日(木) 午前

9時〜午後4時30分

▼ どこで 山形ビッグウイング

▼ 受講料 7000円(テキ

スト代、講師料等)

▼ 申込方法 山形県狩猟会ま

たは猟友会の各地区支部に受

講料を添えて申し込んでくだ

さい。

▼ 締め切り 8月3日(金)

■ 問い合わせ 山形県狩猟会

(☎023-1624-0382)

火葬申込時間について(お願い)

死亡された場合、死亡届出に先立ち火葬の
申し込みをさせていただくわけですが、受付時
間が決まっていますので、受付時間内(午前
7時〜午後9時)の申し込みをお願いします。
時間外の受付はしていませんのでご理解をお
願いします。

例:午後9時以降亡くなられた場合は、翌朝7時以
降の申し込みをお願いします。

火葬受付専用ダイヤル

☎85-0112 (斎場受付センター)

※この番号以外での受付はしていません。

受付時間 午前7時〜午後9時



はかりの定期検査があります

取引や証明（商売に使用しているもの）などに使用するはかりは、2年に一度の定期検査が義務付けられています。はかりをお持ちのかたは、忘れずに検査を受けてください。

▼いつ 8月3日（金）

- ・午前の部 午前10時～正午
- ・午後の部 午後1時～3時 30分

▼どこで 役場西側車庫

■問い合わせ 産業振興課 商工振興係（☎85-6136）

介護者交流会

忙しい介護から一時的に離れ、介護者同士の交流を持ちリフレッシュしましょう。

▼期日とコース

- (1) 1日コース
- ① 8月30日（木）月山志津温泉
- ② 10月21日（日）パレス松風
- (2) 1泊2日コース
- ③ 9月6日（木）～7日（金）白布温泉
- ④ 9月27日（木）～28日（金）温海温泉

⑤ 10月25日（木）～26日（金）

銀山温泉

▼参加対象 次のかたを介護している介護者です。

① 要介護4または5に相当するかた

② 認知症のある高齢のかた（日常生活自立度Ⅲ以上）

▼参加費 原則として全額助成します。

*介護されているかたが短期入所等を利用する場合は、全額自己負担になります。

*参加するために介護が必要なかたは、ご相談ください。また、介護認定を受けていなくても参加条件に該当するようなかたは、申し出てください。

■申込・問い合わせ 健康福祉課 地域包括支援センター（☎86-0112）

「山形県身体障がい者等用駐車施設利用証制度」のお知らせ

県では、体が不自由な人向けの駐車場の利用証制度を開始しました。県内の公共施設やスーパーマーケットなどに設けられている「身体障がい者等用駐車施設」を正しく利用していただくための制度です。対象者には、県が交付する利用証を掲示していただき

ます。

本当に必要なとするかたが利用できるよう、皆様のご協力をお願いします。

▼利用証の交付対象のかた（具体的な要件はお問合せください）

① 身体障がい者のうち歩行困難なかた

② 高齢により歩行困難なかた

③ 知的障がい者のうち歩行困難なかた

④ 難病により歩行困難なかた

⑤ 妊産婦

⑥ けがにより歩行困難なかた

▼利用証の交付場所 県庁障がい福祉課または総合支庁福祉課

*郵送による申請も可能です。お問い合わせください。

▼利用証交付手数料 無料

▼有効期間

・交付対象①～④のかたは5年間

・交付対象⑤～⑥のかたは1年未満が必要な期間

▼対象駐車施設 対象となる駐車施設には「身体障がい者等用駐車施設」の案内表示が掲示されています。

■問い合わせ 山形県障がい福祉課（☎023-63012268）

年金記録相談臨時窓口を開設します

年金受給者でも疑問のあるかたはどなたでも相談できます。少しでも疑問のある場合はぜひご相談ください。

いつ 7月25日（水）
午前9時30分～午後3時
どこで 中央公民館1・2研修室

※相談をスムーズに進めるため、年金手帳、年金証書、職歴を控えたメモなどをご持参ください。

■問い合わせ
町民税務課 戸籍年金係
☎85-6129

☆町議会がさらに身近に☆
議会録画中継が始まりました

町では、町議会会議の様子を生中継でインターネットを通してお届けしています。さらに7月から、これまでの議会中継に加えて、過去に開催された会議内容（録画中継）が視聴できるようになりました。ぜひご利用ください。

●配信内容 町議会定例会本会議及び臨時会（平成19年6月定例会から）

●視聴方法 白鷹町のホームページから「町議会」のページへ進んでご覧ください。

※議会中継は本会議開始直前から終了までを放送します。
※録画中継は生中継の内容と同じです。
※議会中継（映像及び音声）は白鷹町議会の公式記録ではありません。

■問い合わせ 白鷹町議会事務局（☎85-6135）



こいのぼりさん 2歳児

園庭のこいのぼり、風がないので泳いでいません。
子「こいのぼりさん元気ないね・・・おなか減ってるのかなー」

次の日、風が吹いて元気に泳ぐこいのぼりを見て
子「こいのぼりさん元気だね！ごはんいっぱい食べたんだ！」

おもしろちょう 3歳児

先生の手を引っぱって、張り切ってお外に飛び出していった男の子
子「せんせい、早くおもしろそう取りに行くべ！」
先生「おもしろう？どんな草？」
子「チョウチョだよ！」
先生「・・・あ！もしかしてモンシロチョウか？」
子「うん、おもしろちょうよ！」



介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター TEL86-0112

第4条「気負いは、負け」

「認知症の人と家族の会」副代表理事で、神奈川・川崎幸クリニックス院長・杉山孝博さんの「上手な介護の12カ条」を紹介しています。

「兄弟たちからは『あなたがお姑さんを大切にしないから認知症が始まったんじゃないの』と非難された。その場にはいた夫は、その言葉にひと言も反論せず、わたしを弁護してくれなかった。こうなったらわたし一人でお姑さんを看たいって、きつと認知症を治してみせる。」

「わたしは少しでもそばを離れると、とても寂しそうな顔をしてわたしを探そうとします。こんな母を置いて旅行に行っても楽しくありません。」

さまざまな背景を持ちながら、どの家族も介護を続けていくわけですが、本人を思う

あまり、つい力み過ぎて介護者が消耗してしまうことが少なくありません。ほかの家族と協力関係がうまくいかない場合や、認知症の初期の介護の場合などによく見られます。しかし、一生懸命にやりすぎることは効果が上がらないばかりか、混乱をますますひどくさせてしまうことにもなります。気負いを取って、割り切りながら介護を続けていくほうがうまく行くものです。先生の患者さんの家族に、あまりにも一人でがんばり過ぎて倒れてしまい、救急車で二人一緒に入院したかたや、介護していた配偶者のかたが先に亡くなってしまったというかたが多数いらっしゃいます。

介護保険制度をうまく利用して介護の負担を軽くしてください。長期的にみれば、その方がお年寄りのためになるはずですよ。気負い過ぎないようにはしましょう。介護保険制度の利用に関すること、介護の悩みなどは地域包括支援センターにお気軽にご相談ください。

「町報川柳」 美

菅原 泡介 選

佳作

美しい季節が里を埋め尽くす健康美なら負けてない力瘤

滝野 海老名達夫

四季の美は自然が生んだ宝物

美しく老いる心に灯が点る

山口 石川與次衛門

美しい心は金と物に負け

黒いのは健康美だと世辞で埋め

山 梅津 いと

美しさ感じて生きる老いの幸

雑用に埋もれ美意識顔出さず

畔 高橋 正

美しい山野で拾う旬の味

文化国美食飽食身の危険

畔 高橋 正

美しい我が故里を自慢する

我が町の顔だ誇りだ紅の花

横田 志鎌はる糸

包丁に男の美学見付けたり

美しい話の裏にある疑問

世田 遠藤 八重

美人では無いが愛嬌ある笑顔

五月晴れ空気美味しい山の里

荒砥 丸山 正志

美人妻持つて世間を狭く生き

美辞麗句言葉巧みに買わされる

浅立 梅津 たつとみ

美しさ褒めて花折る罪意識

嫁姑譲り合つてる美しさ

浅立 梅津 たつとみ

美しいこの町が好き人が好き

美しい言葉の裏の含み針

高岡 井上 秀雄

大正の生まれ美德を疑わず

汗きり妻の横顔美しい

高岡 須貝 仲次

枯れかけて心美人になりました

美しい夕日だ明日は仲直り

高岡 須貝 仲次

叱らない笑顔の母の美にふれる

軸吟 車椅子介護の笑みが美しい

高岡 須貝 仲次

次回課題 「うっかり」 七月末日迄

「雨」 八月末まで

高岡 須貝 仲次

はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八一二

高橋 白兔 宛

高橋 白兔 宛

お詫びして訂正致します。

高橋 白兔 宛

高橋 白兔 宛

はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八一二

高橋 白兔 宛

高橋 白兔 宛

お詫びして訂正致します。

高橋 白兔 宛

高橋 白兔 宛

